

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡療育支援センターいちばん星新宮 放課後等デイサービス いちばん星dream		
○保護者評価実施期間	令和7年9月16日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	93人	(回答者数) 60人
○従業者評価実施期間	令和7年10月23日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を提供している	・作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、保育士を配置しており、子どもの特性や課題に応じた職種が支援を実施 ・各職種で連携し、その都度相談をしながら支援方針を決定 ・社内外での研修へ積極的に参加	各職種が積極的な自己研鑽を継続し、部署内で共有する
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるようにしている	・対面でのフィードバック時間を必ず確保する ・定期のフィードバックに加えて、必要時には面談の時間を設定している	担当者会議への参加率をさらに向上させ、他事業所や学校との密な連携を図る
3	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成している	計画的にアセスメントを行い、目標の見直しを行っている	将来の自立を見越して、現状で取り組むべきことを整理し、計画に盛り込む

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催、きょうだい向けのイベントの開催等、家族への支援	小1から高3までと、幅広い年齢層を対象としているため、全員を対象としたテーマを設定しにくい	年に2回、小学生と中高生保護者それぞれを対象とした保護者会の開催を検討する
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会の設定	個別療育に特化しているため、不特定多数の地域児童との活動は想定していない	事業所内での児童同士の関わりについては、運動スペースでのやりとりや、イベント開催時での交流の機会を更に充実させる
3	家族等も参加できる研修会などの情報提供	発信する機会が少なかった	外部で開催されている研修会やイベントなどを、SNSを通じて発信する